

令和5年11月22日号

御幸が原小だより

～実りの秋を目指して～



発行 宇都宮市立御幸が原小学校

校長 稲澤 正明

栃木県宇都宮市御幸ヶ原町 53-2

TEL 028-663-0358

e-mail mihara-e@ueis.ed.jp



学校 HP QRコード

季節外れの気温が続いた10月から一転、今月からは急な冷え込みとなり、登校時の子供たちの服装も手袋やマフラー姿など冬の装いが見られるようになりました。現在、学校では体調を崩してしまう児童が増えています。体が冷えると免疫力が低下します。衣類を上手にを使って健康管理に努めてください。

今月は1～4年生の遠足や校外学習がありました。子供たちにとっては教室での勉強も、休み時間や給食、そして校外での様々な体験もすべてが学びの時間です。子供たちの遠足を迎えた朝の表情もしくり、学校生活で見せる真剣な表情や休み時間の笑顔に接していると、改めて「みはらっ子たちよ 様々な経験から多くのものを吸収し、実りの秋にたくさん実れ」そんな気持ちがわいてきます。

1～3年生遠足・4年生スケート教室

1年生は7日（火）に「うつのみや動物園」・2年生は9日（金）に「とちのきファミリーランド&子ども総合科学館」・3年生は9日（木）に「モビリティリゾートもてぎ」・4年生は16日（木）に「うつのみやスケートセンター」に行ってきました。学校ではできない楽しい体験と思い出ができたことでしょう。

～1年生～



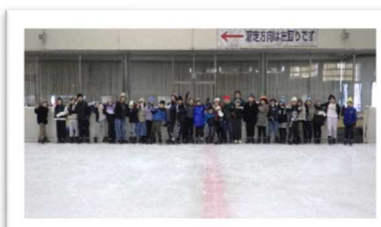
～2年生～



～3年生～



～4年生～



あいさつ運動

10月から11月にかけての生活目標は「元気よく心を込めて挨拶をしよう」でした。そこで、1学期の挨拶運動を発展させ、相手より先に挨拶をすることを目標に、計画委員だけではなく、有志を募り「あいさつ団」を結成し取り組みました。すると、わずか1か月間の間で相手より先に挨拶をする児童が増えてきました。私は挨拶は習慣によって身に付くものだと思っています。私は、中学校や部活動、そして社会に出てからも、新しい世界に足を踏み入れるたびに真っ先に言われたことは挨拶でした。同じ経験をした保護者も少なくないことと思います。人と人との関わりの中で、どれだけ挨拶が重要であるか、保護者の皆さんも十分に感じていることと思います。子供のうちに「進んであいさつをする習慣」を身に付けてしまえば一生ものです。保護者の方にも、ご家庭で時にお手本となっていていただき、共に進んで挨拶ができる子供たちを育てていきましょう。



2年生のサツマイモ掘り&6年生の宮っ子伝統文化体験教室（ふくべ細工）



雑 感

【廊下である児童と】

校長：「最近急に寒くなってきたから、風邪に気をつけてね。」すると、児童：「はい。校長先生も気をつけてください。」

【掃除の時間】

校長：廊下を掃除していると、複数の児童：「ありがとうございます。」また、ある児童：「手伝いますか？」校長：「大丈夫だよ。」すると、ある児童：「それでは、がんばってください。」

【就学時健康診断時】（これは新1年生保護者からお聞きしたものです。）

別れ際に、新1年生：「お話をたくさん聞いてくれてありがとうございました。」ある児童：「こちらこそ楽しいお話をたくさん聞かせてくれてありがとう。」就学時健康診断では、新1年生と5年生がペアとなり、5年生が様々なお手伝いをしました。そのお手伝い時に新1年生が自分の興味ある話をたくさんしていたそうです。

どれもが心温まる素敵な児童たちの言葉だと思っています。人への優しさ・思いやりの心は、一朝一夕に育まれるものではありません。家庭や学校など、普段からの周囲の言葉かけや会話、つまりは環境によって時間をかけながら育まれていくものだと思います。そして、人に優しくできる時、子供たちの心が健康である何よりの証だとも思っています。ふわふわ言葉（人への優しさ・気遣いの気持ちが込められている言葉）がたくさん飛び交う御幸が原小学校でありたい。と願いつつ、今後もそのための取組をしていきたいと思っています。